日方川

大樹高校PTAだより
第　140　号
令和８年10月１日発行
発行人　西尾　良太
編集人　川村眞登香
石原優一郎
岡崎　文枝

「今年度のＰＴＡ活動の抱負と挨拶」



ＰＴＡ会長　西尾　良太

皆さん、こんにちは！今年からＰＴＡ会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さっそくですが、今年のＰＴＡだよりで一番お伝えしなければならないことがあります。これを読んでくださっている方はすでにご存知かもしれませんが、大樹高校は今、まさに「存続の危機」に直面しています。今年の入学者数はわずか十七名。来年も二十名を下回ると厳しい状況が続き、学校の存続そのものが危うくなってしまいます。大樹高校の火を絶対に消さないために、今こそ保護者と地域が一体となって取り組む時です。どうか、より多くの方にこの現状を伝えていただけると嬉しいです。正直に言えば、このタイミングでの会長就任にプレッシャーを感じることもありますが、この危機を乗り越えるべく私なりに努めています。皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

ＰＴＡ役員を引き受ける前は不安もありましたが、実際に活動を始めてみると、大きな気づきがたくさんありました。町や先生方、そして地域の皆さんとお話しする中で、「大樹高校を絶対に存続させるんだ！」という熱い想いがひしひしと伝わってきました。その熱量に触れるうち、私自身も大樹高校のことや子どもたちの未来について深く考える時間が自然と増えました。「役員なんて大変そう…」と思われるかもしれませんが、実際にやってみると、地域や学校の温かいつながりを肌で感じられ、自分自身も成長できるとても良いきっかけになります。なかなか引き受手がいないＰＴＡ活動ですが、実はたくさんのやりがいや発見、面白さが詰まっています。この大切な大樹高校を守りながら、来年度のＰＴＡ役員に挑戦してみようかなと思っていただけたら幸いです。

私自身は今年が役員三年目でラスト、来年には息子も卒業するためこれが最後のＰＴＡ役員、学校を守るって大げさに聞こえるかもしれないけれど、一人ひとりの「できること」の積み重ねが大きな力になります。この大切な大樹高校を守るため、来年は、あなたと一緒に活動できる仲間が増えることを心から楽しみにしています！

「縦と横の糸が織りなすキャリアの構築に向けて」



校長　高橋　豊

保護者等の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様もよくご存じの中島みゆきさんの名曲「糸」には、縦の糸と横の糸が織りなす布が誰かを温めるという歌詞があります。生徒たちの高校生活における学びとキャリアの構築も、まさにこの「糸」に例えることができます。

各教科・科目の学習を通じて培う基礎的な知識や技術は、自らの将来の夢や希望に向けて伸びていく「縦の糸」です。毎日の授業を大切にし、コツコツと努力を積み重ねることで、丈夫で頼もしい縦の糸がつむがれていきます。

一方で、急速に変化する社会や生活環境の中で課題を解決していくためには、つちかった知識に加えて広い視野が必要です。これに対応するのが「横の糸」です。本校で取り組む「地域デザイン」や「総合的な探究の時間」での探究活動をはじめ、大樹町が誇る「宇宙のまちづくり」や豊かな自然・産業に触れる体験学習、そして多様な人々との関わりを通して育む柔軟な思考力こそが、変化の激しい現代を支える「横の糸」となります。

この「縦の糸」と「横の糸」が交わり織りなされる「布」こそが、生徒一人ひとりの「キャリア」であり、将来の自己実現を温かく支える土台となります。強固で豊かな布を織り上げるためには、学校での学習活動でつむぐ「縦の糸」だけでなく、ご家庭や地域の方々のご経験を踏まえた温かい励ましやご助言という「横の糸」の存在が不可欠です。

本校は、生徒一人ひとりが自分だけの価値ある糸をつむぎ、豊かな将来を切り拓いていけるよう、家庭や地域との連携を深めながら、引き続き、充実した教育活動を展開してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「思いを形に」

一年Ａ組　上口　伶奈

少しの不安と、期待に満ちた心境の中迎えた入学式当日。新しい制服に袖を通し、これから始まる高校生活への希望を胸に、新たな第一歩を踏み出しました。今までとは違う見慣れない校舎、そして、初めて出会った十七人のクラスメート。新しい環境を前にして、戸惑いや不安が入り交じっていました。新入生の教室に入った瞬間、これから三年間、この仲間達と過ごす時間への思いが、次々と頭の中を駆け巡りました。まだ見慣れない制服に身を包み、馴染みがない校舎を歩いたあの日。周りにはほとんど初めて見る顔が並び、今後、どんな毎日が私を待ち受けているのだろうと、様々な思いを胸に抱いていました。ですがその一方で、まだ見ぬ日々に少し身構えてしまっている自分もいました。そんな中で迎えた高校生活の始まり。心の片隅に思い描いていた夢が少しずつ現実のものとして感じられるようになっていきました。そして、一年生で初めて学級の役職を決めることになったあの日。学級委員長という名前が挙がったあの瞬間。きっとこれから大変なことに直面したり、悩んだりすることも覚悟した上で、私は学級委員長になりました。ただの憧れではなく、あの日の一歩が、自分の可能性を広げるきっかけになりました。これからも自分の可能性を切り開き、様々なことに挑戦していきたいです。

第79期　入学おめでとう





「共に学ぶ」

一学年主任　宮崎　裕也

令和八年度も半ばを過ぎ、新入生にもさまざまな場面で「手応え」を感じています。一つには、何事にも事前の準備を大切にし、課題意識を持って取り組む姿勢と、どの活動においても「やって終わり」ではなく、一つ一つを振り返り、次につなげようとする姿が見られます。そして何より、一人一人が自分自身の成長や変化を意識し、そのための努力を惜しまない姿勢に、大きな可能性を感じています。

こうした一学年の姿は、職員室でも話題になります。「この学年にはこんな力がある」「もっとこんなことに挑戦させたい」と、先生方が生徒の成長について語る機会が多くあります。

このように成長していくことを「キャリア発達」と呼びます。そして、キャリア発達は「相互発達」でもあります。教師が生徒との対話を通して、「この生徒は何を大切にしているのか」「どんな経験が成長につながるのか」と考えることで、生徒だけでなく教師自身も成長していきます。さらに、家庭や地域、企業なども、生徒との関わりを通して、若者や地域の未来について考えます。生徒の成長は、生徒だけのものではなく、周囲の人々の成長にもつながります。

生徒の「こうなりたい」「こんなことに挑戦したい」という思いに応えられるよう、学年団も最大限の協力を惜しみません。年度末、そして卒業式の日に、成長した個々の生徒達と、教師として一段と磨かれた私たち自身に出会えることを今から楽しみに限られた残りの時間を大切に過ごしたいと考えています。

部活動紹介

▼陸上競技部

陸上競技部　部長　西尾　駿人

現在の陸上部は、二年生二名、顧問二名の計四名で活動しています。

私は今年の五月に高体連十勝支部大会に出場し決勝に残ることはできましたが全道に行けず悔しい思いがあります。そのため後輩は陸上選手として日々の練習に取り組み、培ってきた努力を大会で発揮して良いパフォーマンスを維持して挑める事を願っています。

○第79回十勝高等学校陸上競技選手権大会兼第79回北海道高等学校陸上競技選手権大会十勝支部予選会（帯広の森陸上競技場）
5月21日（木）～23日（土）
男子　100m　宍戸　楓良　予選敗退（12秒68）
　　西尾　駿人　予選敗退（12秒19）
男子　800m　木内　基暉　予選敗退（2分12秒15）
男子1500m　木内　基暉　予選敗退（4分48秒01）
男子　400m　宍戸　楓良　予選敗退（59秒57）
男子　400mH　西尾　駿人　予選決勝　8位入賞（1分12秒99）
　　西尾　駿人　予選敗退（1分10秒84）

○第76回全十勝陸上競技選手権大会兼第81回国民スポーツ大会陸上競技会十勝地区予選会（帯広の森陸上競技場）
7月11日（土）
男子　100m　宍戸　楓良　（12秒24）
男子　800m　木内　基暉　予選敗退（2分12秒47）　8位入賞
男子1500m　木内　基暉　予選敗退（4分41秒28）

○第68回十勝高等学校新人陸上競技大会兼第42回北海道高等学校新人陸上競技大会十勝支部予選会（帯広の森陸上競技場）
8月22日（土）～8月23日（日）
男子　100m　宍戸　楓良　予選敗退（2分15秒14）
男子　200m　宍戸　楓良　予選敗退（4分46秒53）
男子1500m　木内　基暉

▼バドミントン部

バドミントン部　部長　五十嵐海斗

私たちバドミントン部は男子二名、女子二名の計四名で活動しています。普段は自分たちで練習メニューをきめ、主体的にノックや基礎打ちに励んでいます。また、大会が近くなると先生や先輩方にゲーム練習の手伝いをしてもらっていて、実践に近い緊張感を持って取り組むことができています。いつもアドバイスやサポートをしてくださっている、先生や先輩方に対する感謝の気持ちを忘れずに、これからも自分たちで考え、工夫しながら技術力の向上を目指して頑張ります。

○第16回小林純幸杯争奪全十勝高校春季バドミントン大会兼国民スポーツ体育大会バドミントン競技北海道予選会（少年の部）十勝地区予選会（帯広大谷高校体育館・札内スポーツセンター）
4月18日（土）
2部男子D：3回戦敗退（本保・上野）
2部男子S：3回戦敗退（宇佐美・山際）
2部男子S：3回戦敗退（吉岡、上野）
2部女子D：2回戦敗退（本保、五十嵐、宇佐美）
2部女子D：1回戦敗退（山際）
2部女子D：1回戦敗退（玉置・前山）
2部女子S：2回戦敗退（前山）
2部女子S：1回戦敗退（玉置）

○第78回北海道高等学校バドミントン選手権大会兼第77回全国高等学校バドミントン選手権大会十勝支部予選会（よつ葉アリーナ十勝）
5月21日（木）～23日（土）
男子団体：1回戦　大樹　0－3　帯広緑陽
男子D：2回戦敗退（本保・上野）
　　1回戦敗退（吉岡・五十嵐）
女子D：2回戦敗退（玉置・前山）
男子S：2回戦敗退（吉岡、本保）
女子S：2回戦敗退（玉置、前山）

○ヨネックス杯争奪全十勝高校夏季バドミントン大会兼第79回北海道バドミントン選手権大会十勝地区予選会（よつ葉アリーナ十勝）
7月14日（火）～15日（水）
2部男子D：2回戦敗退（五十嵐・本保）
2部女子D：1回戦敗退（前山・川村）
2部男子S：2回戦敗退（五十嵐、本保）
2部女子S：1回戦敗退（前山、川村）

▼女子バレーボール部

バレーボール部　部長　石原さちこ

女子バレー部のこれまでの活動を振り返ってみて、一番印象に残っているのは今年の高体連集約大会です。

今年の高体連集約大会は、私たちにとって最後の大会でした。しかし部員が三年生三名しかいないため、最初は参加できないかもしれないと不安でした。しかし、一年生の助っ人二名と音更高校の三年生二名の力を借りて合同チームを結成することができ、なんとか出場することができました。また、外部コーチの北村さんのご指導のおかげで、チームとしての動きを身につけ、大会に臨むことができました。

大会では、初戦の帯広南商業高校には負けてしまったものの、二戦目の士幌高校との試合には勝つことができました。また、この勝利は私たちにとって初めての勝利でもありました。この勝利は支えてくださった方々のおかげだと考えています。また、最後に充実した試合ができたことで、私たち三年生にとってのバレーボール部の活動を悔いのない形で終えることができました。

私は女子バレー部で培った経験をこれからの生活でも活かし、挨拶や礼儀、感謝の心を大切にしていきたいと思います。顧問の有間先生や笠原先生、外部コーチの北村さん、助っ人で参加してくれた一年生の皆さん、合同チームを組んでくれた音更高校の皆さん、本当にありがとうございました。この場を借りて、改めてお礼申し上げます。

○令和8年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会兼全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会十勝支部予選会（芽室町総合体育館）
5月22日（金）
予選ブロックトーナメント
大樹　0－2　士幌　敗戦
予選ブロック敗退

▼茶道部

茶道部　部長　杉森　佑梨　平岡　結衣

私たち茶道部六名は、技芸講師の小島先生にお稽古をつけていただき、お点前や作法を学んでいます。

今年五月、高文連茶道専門部当番校として野点研修会を開催しました。準備や運営は大変でしたが、精一杯のおもてなしをすることができ、実りある研修会になりました。秋の大会は行事と重なり参加できませんが、日常の稽古に励み、楽しみながら活動をしていきたいです。

○高文連十勝支部茶道専門部野点研修会参加（当番校）
5月22日（金）
於　大樹町生涯学習センター　6名参加

▼クッキング部

クッキング部　部長　澁谷　優希

クッキング部は、二年生六人、二年生一人、一年生三人の十人で活動しています。今年から、大樹中学校の二人の中学生も一緒に参加しています。

主食からデザートまで幅広いメニューの調理を行っています。また、レシピ提供やコンテストへの応募も行っており、今後は地域の食材を活用した商品開発に挑戦したいと考えています。

○牛乳・乳製品利用料理コンクール　応募
○十勝のレシピ　夏休みスペシャル～高校生編～
十勝毎日新聞掲載

▼吹奏楽部

吹奏楽部　部長　矢木明日香

吹奏楽部は現在二年生二名、一年生一名、顧問三名の計六名で活動しています。

日々の練習で苦手なところを練習し、楽器が上手くなるように努力しています。また、曲の練習をして精度を上げ、音楽を演奏する喜びを実感できるように意識して活動しています。これからもいい演奏ができるように頑張りたいです。応援よろしくお願いします。

○4月8日　入学式　式典演奏
4月9日　新入生歓迎会　入退場・部活紹介演奏
7月4日　学校祭発表
8月21日　高文連十勝支部音楽発表大会　優良賞
葬別清陵高校・大樹高校　合同バンドとして参加
10月31日　大樹町文化祭　出演予定
日程未定　小・中・高吹奏楽部合同　コスモスコンサート出演予定
3月1日　卒業式　式典演奏

「大高祭」の様子

「学校祭を終えて」

一年A組　原　里菜

高校に入学して初めての学校祭は、とても思い出に残る行事になりました。縁日係の人を中心に、放課後や休みの日も学校へ行き、飾り付けや会場作りなどの準備を進めました。また、当日のシフトも作成しましたが、最後の方になって取りかかったため、少し慌ただしくなってしまいました。振り返ると、もう少し早く準備を始めていれば、余裕を持って進められたと思います。

学校祭当日は、たくさんのお客さんが来てくださり、会場がとても賑わいました。楽しそうにゲームやカラオケをしている姿や笑顔を見る事ができ、休みの日や放課後にみんなで頑張って準備してきて本当に良かったと感じました。クラスのみんなと声を掛け合いながら協力し、最後までやり切る事ができました。

今回の学祭を通して、一つの行事を成功させるためには、仲間と協力することや、計画的に準備を進める事が大切だと学びました。初めての高校の学校祭は大変なこともありましたが、それ以上に達成感があり、思い出に残る行事になりました。今回の反省を活かし、これからは何事にも早めに取り組むことを意識していきたいです。

「学校祭を終えて」

二年A組　高野　瑛斗

私は今年、学校祭実行委員会の副委員長を務めさせていただきました。準備から当日まで仲間とともに作業・運営をして一人では決してやり遂げることができなかったこの体験を通じ、仲間と協力することの大切さや、誰かのために動く喜びを学ぶことができました。未熟な私を支えてくれた実行委員の仲間、ご指導くださった先生方、そして盛り上げてくれた全校生徒の皆さんに、心から感謝しています。副委員長になったこの経験は、私の学校生活の中での宝物です。



「学校祭を終えて」

三年A組　坂本　倫央

今年の学校祭は初めて実行委員会を務めたこともあり、とても達成感のあるものになりました。

実行委員会として私が頑張ったことはクラスTシャツを注文することです。デザインを決めることや注文書を書くのを頑張ったのはもちろんですが、特に頭を悩ませたのはいかに出費を抑えて予算内に納めるか、です。同じ実行委員会のみんなと一緒にどこを削れるか、どの割引を使えるかを沢山考えて限界まで単価を抑えることができました。

準備期間では一・二年生の作業が早くて内心焦りながら垂れ幕を作りました。ですが、他の部門から手伝いに来てくれたおかげで時間に余裕を持って提出することができました。

学校祭当日はクラスごとの出し物が楽しかったのは勿論のこと、去年までとはガラッと変わったプログラムの生徒会企画もとても面白かったです。

全員で協力し合って作った学校祭が、忙しかった準備期間も含めてずっと楽しかったです。今回の学校祭で得た経験を今後も大切にしていきたいです。








令和８年度 PTA 役員

四　役

会　長	面尾　良太（３年）
副会長	川村眞登香（２年）
副会長	岡崎　文枝（１年）
副会長	髙橋　　豊（校長）
会　計	大橋　　渚（２年）
会　計	桐生　俊也（事務長）
監　査	石原優一郎（３年）
監　査	近藤　梨沙（１年）

事務局

事務局長	浅見　　聡（教　頭）
会　　計	桐生　俊也（事務長）
事務局員	吉田　佑輔
	林　　昭宏

事業部各担当

事業部長	川村眞登香（２年）

	総務担当	研修担当
主担当	川村眞登香	大橋　　渚
	岡崎　文枝	近藤　梨沙
	石原優一郎	
１学年	大谷　麻美	白木　幸恵
２学年	矢木登美代	澁谷美和子
３学年	大林　将秀	坂本奈緒美
担当教員	吉田　佑輔	林　　昭宏

高校の情報を掲載した Web サイト

大樹高校 | 検索

大樹高校の最新情報をご覧ください。

http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp



編集余録

今年も猛暑が予想されていましたが、思いのほか過ごしやすい夏が過ぎようとしています。７月の学校祭では、ＰＴＡとして魯肉飯の調理と販売を通して参加させていただいたが、学生の生き生きとした表情や子供から高齢者まで幅広い地域の方々の参加など、改めて大樹高校の重要性を感じました。夏休みが明けると、見学旅行や進路など、それぞれの学年で慌ただしい日々が続くと思われます。残暑や季節の移り変わりで体調を崩すことなく、学校祭で見せてくれた自主性を前面に、それぞれが目標に向かって進んでくれると楽しみに、今後もＰＴＡとして協力していきたいと思いました。

総務部　大林　将秀

令和８年度事業計画

４月　３日（金）	第１回ＰＴＡ四役会議　【内容】ＰＴＡ運営に係る議事について
４月　８日（水）	１学年ＰＴＡ懇談会
４月 25 日（土）	ＰＴＡ総会
５月 11 日（月）	第２回ＰＴＡ四役会議　【内容】ＰＴＡ役員総会に向けて 学校祭への参加・協力について
５月 15 日（金）	高Ｐ連十勝支部総会
５月 25 日（月）	２学年ＰＴＡ懇談会（見学旅行説明会）
６月　４日（木）	ＰＴＡ役員総会
６月　６日（土） ～　７日（日）	北海道高等学校ＰＴＡ連合大会（岩見沢市）
７月　４日（土） ～　５日（日）	学校祭への参加･協力
10 月　３日（土）	高Ｐ連十勝支部研修会（清水町）
10 月上 旬	ＰＴＡだより「日方川」第 140 号発行
３月　１日（金）	ＰＴＡだより「日方川」第 141 号発行